

←ていねいに引っぱってください。別冊解答になります。

中学基礎がため100%

できた! 中学社会

歴史 下

別冊
解答と解説

KUMON

11 ヨーロッパの近代化

スタートドリル

P.6,7

- 1 (1) 絶対王政 (2) エリザベス 1 世
(3) プューリタン革命 (4) 名誉革命
(5) 独立宣言 (6) フランス
(7) ナポレオン

考え方 (2) エリザベス1世は地主や成長した商人の支持を受け、国力を強めた。スペインの無敵艦隊を破り、東インド会社を設立してアジア貿易に進出し、イギリス絶対王政の全盛期をむかえた。

(4) イギリスではピューリタン革命で共和制が成立したが、クロムウェルが死ぬとすぐに王政が復活した。国王は議会を無視した政治を行ったため、議会は国王を追放し、オランダから新王とそのきさき(イギリス王女)をむかえ入れた。この革命は血を流さなかったので、名誉革命といわれる。

(5) アメリカの独立戦争は、単なる植民地の反乱ではなく、自由を得るための革命であった。

- 2 (1) 国王
(2) モンテスキュー
(3) 社会契約説

考え方 (2) フランス人。『法の精神』をあらわし、三権分立を説いた。
(3) 社会契約説とは、社会は個人の契約で成り立っているという考え方。権力者は、人民の意思により権力を持っているととらえ、人民が拒絶すれば権力を失うという考え方。

- 3 (1) ① 江戸 ② プューリタン

- ③ 名誉 ④ 権利 (の) ⑤ 独立
⑥ フランス ⑦ 人権
(2) 立憲君主

考え方 (1) ②ピューリタン(清教徒)の多い議会と国王の対立が続いていた。17世紀には内乱に発展し、議会派のクロムウェルが国王軍を破り、1649年に国王を処刑して共和政治を行った。

(2) 憲法に基づき、君主が政治を行うという体制のこと。憲法により君主の権力が制限される場合もあれば、憲法を用いてより中央集権を加速させる場合もある。

1 絶対王政とイギリスの革命 P.8,9

- 1 (1) 絶対王政 (2) エリザベス 1 世
(3) ルソー (4) クロムウェル

考え方 (1) 封建社会がくずれていく過程で、絶対的な権力を持つようになった国王による政治。イギリスのエリザベス1世、フランスのルイ14世のもとで特に発達した。

- 2 (1) 三権分立
(2) プューリタン革命
(3) 名誉革命 (4) ルイ 14 世

考え方 (1) 法律をつくる立法権、政治を行う行政権、裁判を行う司法権を三権という。この三権を分散させ、権力を集中させないという考えを三権分立という。

- 3 (1) ① 国王 ② スペイン
(2) 東インド会社
(3) プューリタン (清教徒)

考え方 (1) 宗教をおさえ、強大な権力をにぎったイギリスの国王は、大商人と

組んで経済力をたくわえ、海外に勢力をのばしていこうとした。

- 4** (1) ア (2) 権利 (の) 章典
(3) 国王

考え方 (1) イギリスでは、カルバンの教えを信じる人々(ピューリタン)が、さらに宗教改革を進めようとしたため、国王から弾圧を受けた。

2 アメリカの独立とフランス革命 P.10,11

- 1** (1) イギリス (2) ワシントン
(3) フランス革命 (4) 国民議会

考え方 (3) バスチーユ牢獄には多くの政治犯がとらえられており、圧政の象徴と考えられていた。

- 2** (1) 独立戦争 (2) 独立宣言
(3) 人権宣言 (4) ナポレオン

考え方 (3) 革命前のフランスは三身分からなり、第一身分の聖職者と第二身分の貴族は、当時の総人口の2%にすぎないのに、全国の土地の半分近くを所有し、農民から地代をとりたて、重要な官職を独占していた。

- 3** (1) 独立宣言 (2) スペイン
(3) 東海岸

考え方 (2) フランスはアメリカの独立戦争を支援したことも財政難になった一つの原因だった。

- 4** (1) 1789年 (2) バスチーユ牢獄
(3) イ (4) ナポレオン法典(民法)

考え方 (3) フランス人権宣言は、正式には「人間及び市民の権利の宣言」という。ナポレオン法典はこの宣言をもとに

つくられたと考えられている。

まとめのドリル

P.12,13

- 1** (1) 啓蒙
(2) ① ピューリタン革命
② 名誉革命 (3) バスチーユ牢獄
(4) エ (5) 1776年

考え方 (1) 啓蒙思想は、イギリスのロックらに始まり、フランスのモンテスキュー、ルソーによって展開された思想。古い制度や慣習を批判し、市民社会に大きな影響をあたえた。

- 2** ① ロック ② モンテスキュー
③ 法の精神 ④ 人民主権

考え方 ① 抵抗権とは、人民が権力の乱用に抗議していいという考え。また、社会は個人の契約によって成り立っているため、民衆の意思に反した政策をとる権力者は、権力をうしなうという考えを社会契約説という。

- 3** (1) ① エリザベス1世
② 独立宣言 ③ フランス革命
④ ナポレオン
(2) A クロムウェル
B 絶対王政 C 人権宣言
(3) (例) ロシア遠征に失敗した。

考え方 (2) B 「太陽王」と呼ばれたルイ14世は、その富と権力の象徴として、パリ郊外にベルサイユ宮殿を建てた。

12 欧米の進出と日本の開国

スタートドリル

P.16,17

- 1** (1) フランス (2) リンカン

- (3) ^{ナンキン}南京 (4) ^{ていこく}ムガル帝国
 (5) ^{ペリー}ペリー (6) ^{日米和親条約}日米和親条約
 (7) ^{たいせいほうかん}大政奉還 (8) ^{ぼしん}戊辰戦争

考え方 (1) フランスでも産業革命が進み、都市に住む労働者が増加し、労働条件の改善や参政権を求める動きが大きくなった。1848年にパリで二月革命が起こり、世界に先がけて男子の普通選挙制が実現した。
 (4) 16世紀前半から19世紀半ばまでインドを支配していたイスラム教徒の帝国。

- 2** (1) イギリス (2) 蒸気機関
 (3) マルクス

考え方 (3) ドイツの思想家で、マルクス経済学を唱えた人物。資本主義社会の不平等を科学的に解明し、社会主義を説いた。

- 3** (1) ① 日米和親 ② 日米修好通商
 ③ ^{さくらだもんがい}桜田門外 ④ ^{さつちょう}薩長同盟
 ⑤ 大政奉還 ⑥ 産業革命
 ⑦ アヘン (2) 資本主義

考え方 (1) ④ ^{さつ まはん}薩摩藩は薩英戦争、^{ちやうしやう}長州藩は下関戦争を経験して、攘夷の無謀をさとした。土佐藩出身の坂本龍馬の仲立ちで薩長同盟を結び、倒幕へと動いていった。

1 産業革命と欧米諸国 P.18,19

- 1** (1) イギリス (2) 軽工業
 (3) 世界の工場 (4) 資本主義

考え方 (1) イギリスで世界で最初に産業革命が起こったのは、いち早く革命が起こり、経済活動の自由と私有財産制が確立したことと、豊富な労働力や資本に加え、海外に広い市場を

持っていたことがあげられる。

- 2** (1) ^{ふつう}男子の普通選挙 (2) ビスマルク
 (3) 南北戦争 (4) リンカン

考え方 (1) 普通選挙とは、財産や納税額などによって制限されることのない選挙のこと。
 (4) 北部出身の第16代大統領で、奴隷解放を宣言した。ゲティスバーグの演説で述べた「人民の、人民による、人民のための政治」は民主主義の政治の精神をあらわした言葉として有名。

- 3** (1) ㊦ 18世紀 ㊧ 綿織物
 ㊵ 蒸気機関 ㊶ 重工業
 (2) 産業革命

考え方 (1) ㊧ このころ、日用品としての綿織物の優れた特色に人気が集まり、需要が高まった。また、綿織物工業は毛織物工業に比べて新興の産業であったために、新しい技術を導入しやすいという利点があった。

- 4** (1) ① 北部 ② 南部
 (2) 人民

考え方 北部と南部の主張の違いをおさえておこう。

北部		南部
反対	奴隷制	賛成
工業中心	経済	農業中心
資本家	中心	農場主
保護貿易	貿易	自由貿易

2 ヨーロッパのアジア侵略 P.20,21

- 1** (1) インド人兵士 (2) ムガル
 (3) マレーシア (4) アヘン
 (5) ^{ホンコン}香港

- 考え方** (1) イギリスの支配に対する反乱は、インドの国土の3分の2までに広がり、インドの独立運動の出発点となった。
- (4) インド産の麻薬とは、アヘンのこと。

- 2** (1) A 清 B イギリス
C インド (2) アヘン戦争

- 考え方** 18世紀中ごろから、イギリスでは茶(紅茶)が大衆的な飲み物として流行し、イギリスは中国から大量の茶を輸入した。その代金としての銀を、中国へのアヘンの密貿易によって得ていた。

- 3** (1) A ウ B イ (2) 産業革命
(3) インド大反乱

- 考え方** (1) イギリスで大量生産されるようになった綿布がアジアに輸出されると、インドの手工業による綿布の生産が急速におとろえ、町には失業者があふれた。
- (3) イギリスの東インド会社にやとわれていたインド人兵士が、反乱を起こしたのをきっかけに、インド全体に反乱が広がった。この反乱でイギリスはムガル皇帝を退位させ、ムガル帝国は滅亡する。

- 4** (1) 洪秀全 (2) ムガル
(3) 香港

- 考え方** (1) キリスト教の影響を受け、財産の平等、土地の均分、男女平等、民族の対等など、万人の平等な社会をめざした。

3 開国と江戸幕府の滅亡 P.22,23

- 1** (1) 日米和親 (2) 安政の大獄
(3) 薩摩 (4) 王政復古
(5) 戊辰戦争

- 考え方** (2) 大老の井伊直弼は、幕府のやり方に反対する公家、大名、武士たちを厳しく処罰し、幕府の権威をもちかえそうとした。
- (5) 京都の鳥羽・伏見に始まり、江戸や会津若松などのおもな戦いが、戊辰の年に起こったため、こう呼ばれる。

- 2** (1) ペリー (2) 井伊直弼
(3) 徳川慶喜 (4) 坂本龍馬

- 考え方** (1) アメリカは、捕鯨と中国貿易を行っており、石炭や水を補給するため、船の寄港地として日本が必要だった。

- 3** (1) A 日米修好通商条約
B 領事裁判権 C 関税自主権
(2) 尊王攘夷運動

- 考え方** (1) C 国家が自主的に輸入品の関税を決めることができる権利。日本にはこの権利がなかった。そのため、安い輸入品が日本国内に出回り、国内の産業が大きな打撃を受けた。
- (2) 国学の学者などによって唱えられ、武士や上層の農民、商人などの間に広まった。

- 4** (1) イ・函館 (2) キ・鹿児島
(3) カ・下関

- 考え方** (2) イギリス人殺傷事件とは、生麦事件のこと。1862年、薩摩藩の島津久光の行列が生麦村(今の横浜市)にさしかかったとき、イギリス人商

人らが騎馬^{きば}で行列を横切ったため、薩摩藩士に切りつけられ、1名が死亡した事件。イギリスは謝罪^{いしや}と慰謝料^{いしや}を求めたが薩摩藩が応じなかったため、翌年^{さつえい}薩英戦争が起こった。

まとめのドリル

P.24,25

- 1** (1) 世界の工場
(2) ① 資本家 ② 利益 (利潤)

考え方 (2) 資本主義社会の中心となったのは、資本家と労働者である。資本家が利益を追求するあまり、労働者に低賃金・長時間労働などを課すと、労働者は団結して労働条件の改善を求め、資本家と対立した。

- 2** (1) イギリス
(2) ㊦ 東インド ㊧ アヘン
(3) 産業革命 (4) ア

考え方 (3) イギリスは17世紀に、せんい、金属工業で工場制手工業が発達していた。また、石炭・鉄鉱石の資源にめぐまれていた。当時、多数の農民が土地を失い、安価な工場労働者となっていた。さらに海外に多くの植民地があり、原料や商品の市場を持っていた。このような背景のもとで、イギリスで世界最初の産業革命が起こった。

- 3** (1) ① 日米和親 ② 薩英戦争
③ 薩長同盟 (2) ア・エ
(3) 西郷隆盛・大久保利通

考え方 (1) ① 函館・下田の二港を開いてアメリカ船の寄港を認めた。これによって日本は開国することになった。ただ、これは幕府が独断で行ったため、朝廷周辺を中心に、強く非難す

る声があがった。

- 4** (1) 吉田松陰 (2) 井伊直弼
(3) 坂本龍馬 (4) 徳川慶喜

考え方 (1) 長州藩出身の尊王思想家。1854年に海外渡航をくわだてて、下田沖にいたペリーの軍艦に乗りようとしたが拒否された。萩にあった松下村塾を叔父から受けつぎ、わずか二年半の間に、高杉晋作、久坂玄瑞、木戸孝允、山県有朋、伊藤博文らを育てた。1859年、安政の大獄で刑死した。

定期テスト対策問題

P.26,27

- 1** (1) ナポレオン
(2) インド大反乱 (3) 権利章典
(4) モンテスキュー (5) ウ
(6) ビスマルク
(7) ピューリタン革命
(8) D

考え方 (6) プロイセンの地主貴族(ユンカー)の出身。国王の信任を得て首相となり、ドイツを統一した。かれが議会で行った有名な演説の言葉から「鉄血宰相」と呼ばれた。

- 2** (1) アヘン
(2) 領事裁判権(治外法権)を認めた。
(または、関税自主権がなかった。)
(3) (例) 攘夷の方針を変え、薩長同盟を結んで、協力して倒幕運動にあたった。
(4) 南北戦争

考え方 (2) 日本が領事裁判権を認めたことにより、日本に住む外国人が罪を犯しても日本の法律に基づいた裁判ができなくなった。また、関税自主権がないことで、外国から輸入された

製品に税を自由にかけられず、国内の産業を守りにくくなった。明治新政府の当面の重要課題は、この不平等条約の改正であった。

- 3** (1) 蒸気機関 (2) 産業革命
(3) 労働組合 (4) マルクス
(5) 世界の工場

考え方 (4) カール・マルクスは資本主義の行きづまりと労働者の団結を説き『資本論』を書いた。

13 明治維新

スタートドリル

P.30,31

- 1** (1) 五箇条の御誓文 (2) 版籍奉還
(3) 廃藩置県 (4) 徴兵令

考え方 (1) 明治新政府成立当初の基本方針を示したもの。明治天皇が公家・大名を率いて神にちかう形で出した。
(2) 1869年、薩摩、長州、土佐、肥前の四藩主が版(土地)と籍(人民)を返したいと政府に願い出た。これは木戸孝允や大久保利通らが中央集権国家体制をつくるため四藩主を説得したもので、他の諸藩主もこれにならって、版と籍を天皇に返した。
(3) 1871年、薩摩、長州、土佐の三藩の協力で兵を東京に集め、知藩事に対して藩を廃止し県を置くことを命じ、3府302県が成立した。

- 2** (1) 解放令 (2) 地租改正
(3) 富岡製糸場 (4) 福沢諭吉
(5) 学制 (6) 文明開化

考え方 (1) 1871年、えた・ひにんの解放令が出された。これは、江戸時代に

おける身分としての呼び名を廃し、平民と同様にするというもの。しかし、差別は残り、兵役と納税の義務が課された。

(2) 江戸時代の負担とほとんど変わらなかった。各地で地租改正の反対運動が起き、1877年、地租を地価の2.5%に下げた。

(3) 群馬県富岡(現富岡市)に官営の製糸場がつくられ、1872年に操業を開始した。女工は、近県の士族の子女が多かった。

- 3** (1) ① 明治 ② 五箇条の御誓文
③ 版籍奉還 ④ 廃藩置県
⑤ 学制 ⑥ 徴兵令 ⑦ 官営模範
(2) 文明開化

考え方 (1) ⑤ 日本最初の近代的学校教育法。全国に5万以上の小学校をつくることにしたが、初期は寺院・民家を利用したものが多く、寺子屋とあまり変わりはない。
⑥ 国民を組織して常備軍をつくらうとする長州派と、士族兵にたよるべきだとする薩摩派とが対立したが、廃藩置県によって諸藩の兵がなくなったことなどもあって、国民皆兵の条件がつけられた。

1 新政府の成立

P.32,33

- 1** (1) ① 版籍奉還 ② 廃藩置県
(2) 四民平等 (3) 明治維新

考え方 (2) 新政府は、天皇のもとに国民を一つにまとめようとして、身分制度を改めた。しかし、現実の差別は消えず、えた・ひにんは新平民などと呼ばれた。

- 2 (1) 五箇条の御誓文 (2) 廃藩置県
(3) 解放令 (4) 藩閥政治

【考え方】 (4) 薩摩藩、長州藩、土佐藩、肥前藩(特に薩摩藩と長州藩)の出身者が中心となり、政治を動かした。

- 3 (1) 会議 (2) イ

【考え方】 1868年3月には、庶民に対しても、一揆やキリスト教の禁止などをうながす五つの高札(五榜の掲示)が立てられた。

- 4 (1) ① 皇族 ② 華族 ③ 平民
(2) 東京

【考え方】 (1) ③ 平民も名字を持つようになり、職業を自由に選択したり、華族や士族と結婚できるようになった。

2 富国強兵・殖産興業 P.34,35

- 1 (1) 満20歳以上の (2) 地租改正
(3) 富岡製糸場 (4) 開拓使

【考え方】 (1) 戸主(家長)やその相続者は兵隊にならなくてよいなどの免除規定があり、「国民皆兵」が実現したのは1889年だった。

(4) 北海道は近代産業の実験地、対ロシアの軍事的拠点として開発が進められることになった。1872年から10年間に1000万円を投入することが決定し、薩摩出身の黒田清隆がその責任者になった。

- 2 (1) ① 3 ② 現金 (2) 徴兵令
(3) 鉄道 (4) 郵便制度

【考え方】 (1) ② それまでの収穫高に対する米による納入は、年によって不安定なものであったため、地価に対する現金による一定納税に切りかえられ、

政府の財政安定化が図られた。

- 3 (1) ① 郵便 ② 貨幣 ③ 鉄道
④ 地租 (2) 官営模範工場
(3) 満20歳以上の男子

【考え方】 (1) ④ 土地の面積と収穫量を調べ、これに基づいて地価を決めた。その地価によって税額が算出された。

4 ウ・エ

【考え方】 アは、奈良時代の荘園の起こりを示したもの。イの政府の収入を落とさないためには、地価は高く設定しなければならない。

3 新しい文化

P.36,37

- 1 (1) 学制 (2) 外国人
(3) キリスト教 (4) 活版印刷
(5) 東京大学

【考え方】 (2) このような外国人はお雇い外国人と呼ばれた。

- 2 (1) 福沢諭吉 (2) 中江兆民
(3) 渋沢栄一

【考え方】 (2) 土佐藩出身の明治時代の自由民権思想家。フランスのルソーの思想を日本に紹介したので、東洋のルソーと呼ばれている。
(3) 埼玉県の豪農の出身で、明治政府の大蔵省につとめ、税制等の改革にあたっていた。教育事業などにも貢献した。

- 3 (1) 学制 (2) 旧開智学校
(3) イ

【考え方】 (3) 授業料が高く、働き手を失うこともあって、当初の就学率は男女平

均30%未満であった。

- 4 (1) 太陽暦 (2) ガス灯・洋館
(3) 文明開化

考え方 (1) 地球が太陽の周りを一周する期間を一年とした暦。

まとめのドリル

P.38,39

- 1 (1) ① エ ② イ
(2) 中央集権

考え方 (2) 藩主にかえて、政府の役人を各県に配置した。天皇が直接人民を治める体制を整え、政府の方針が日本全国に行きわたるようにした。

- 2 (1) 学制 (2) 神仏分離令
(3) 学問のすゝめ (4) 中江兆民

考え方 (3) 福沢諭吉は、幕府の使節に従って三度の洋行を果たし、欧米の近代文明にふれて、学問の大切さを痛感し、自主独立の精神を説いた。

- 3 (1) ① 五箇条の御誓文 ② 藩
③ 平民 ④ 徴兵令
⑤ 官営模範 (2) 解放令(贱称廃止令)
(3) 地租改正 (4) 地券 (5) イ

考え方 (1) ⑤ 群馬県につくられた。

14 近代日本のあゆみ

スタートドリル

P.42,43

- 1 (1) 日清修好条規 (2) ロシア
(3) 板垣退助 (4) 西郷隆盛
(5) 自由民権運動 (6) 自由党
(7) 秩父事件 (8) 内閣制度
(9) 大日本帝国憲法 (10) 貴族院

(1) 25

考え方 (2) 日露和親条約で千島列島の択捉島以南を日本領、ウルップ島以北をロシア領とし、樺太は日露両国民の雑居地とした。1875年には千島を日本領、樺太をロシア領とする交換条約が成立した。

(6) 自由党は、日本で初めて民主主義をかかげた全国的な政党であり、自由民権論に立って政府批判を行ったり、遊説活動を展開した。

(10) 予算先議権のほかは衆議院と対等とされた。

- 2 (1) ① 明治 ② 岩倉
③ 民権議院 ④ 西南
⑤ 国会期成 ⑥ 内閣
⑦ 大日本 ⑧ 樺太・千島
(2) 国会

考え方 (1) ③ 征韓論が敗れて政府を去った板垣退助が、1874年1月に提出するとともに、全文を当時最大の新聞に発表した。伊藤博文が中心となって作成した大日本帝国憲法は、天皇主権で国民の権利は法律で制限されるものではあったが、当時のアジアでは初めての近代憲法であった。

1 国際関係

P.44,45

- 1 (1) 日清修好条規 (2) 樺太・千島交換
(3) 朝鮮 (4) 小笠原諸島
(5) 沖縄県

考え方 (5) 琉球は、江戸初期に薩摩藩に征服されたが、中国に対しても従属関係であったので、明治政府は領有を明らかにするため、沖縄県とした。

- 2 (1) 征韓論 (2) 岩倉具視

(3) 屯田兵

考え方 (2) 欧米との国力の差を痛感した使節団のメンバーは、帰国後、征韓論に傾きかけた政府と対立した。

(3) 開拓が進むと、先住民であるアイヌの人々に対して同化政策を進め、北海道旧土人保護法を制定した。しかし、アイヌの人々への差別はあまり解消されなかった。

- 3** (1) 江華島事件 (2) ① 樺太
② ウルップ (3) 小笠原諸島

考え方 (3) 現在の東京都に属する。大小30余の島々から成り立っている。

- 4** (1) 板垣退助・西郷隆盛
(2) ① 日清修好条規
② 日朝修好条規

考え方 (1) 西郷らは、朝鮮に武力で不平等条約をおしつける形で国交を開こうとした。しかし、岩倉らの強い反対で征韓者は政府を去った。

2 専制政治への不満

P.46,47

- 1** (1) 民撰議院設立の建白書
(2) 自由民権 (3) 西南戦争
(4) 国会期成同盟
(5) 国会開設

考え方 (5) 北海道開拓使官有物払い下げ事件とは、開拓使長官の薩摩藩出身の黒田清隆が、同じ薩摩出身の商人五代友厚に、投資総額1500万円にのぼる官営事業をわずか38万円で払い下げようとした事件。

- 2** (1) 大久保利通 (2) 板垣退助
(3) 大隈重信

考え方 (2) 遊説途中の岐阜で暴漢におそわれたとき「板垣死すとも自由は死せず」と言ったと伝えられている。

- 3** (1) ① 征韓論 ② 西南戦争
(2) ① 国会開設 ② 植木枝盛
③ 東洋大日本国（日本国）

考え方 (1) ② 中世以降、戦いの専門集団であった武士たちと、農民や商人などから集められた徴兵軍の戦い。

- 4** (1) 西南戦争 (2) 藩閥政治
(3) 板垣退助 (4) 大隈重信
(5) 秩父事件

考え方 (5) 秩父は埼玉県西部の地名。福島事件は福島県、加波山事件は茨城県。事件の起こった土地の名称が、そのまま事件の名称となったものが多い。

3 立憲制国家の成立

P.48,49

- 1** (1) ドイツ (2) 伊藤博文 (3) 天皇
(4) 教育勅語 (5) 衆議院
(6) 1.1

考え方 (5) 皇族や華族、国家功労者などの中から任命された貴族院と、選挙で選ばれた衆議院とは、しだいに対立するようになった。

2 A・D

考え方 C 内閣制度は1885年、憲法は1889年である。

D 第一回衆議院議員総選挙では、制限選挙であったにもかかわらず、自由民権運動の流れをくむ人たちが（民党）が多く当選した。

- 3** (1) 大日本帝国憲法 (2) 天皇
(3) イ (4) 伊藤博文

考え方 (2) 大日本帝国憲法では、主権は天皇にあった。

- 4** (1) 衆議院 (2) 満25歳以上の男子
(3) 民党 (4) 華族

考え方 (2) 現在のように男女に選挙権が与えられたのは、第二次世界大戦後である。

まとめのドリル

P.50,51

- 1** (1) 教育勅語 (2) 自由民権運動
(3) ウ (4) 自由党 (5) 1889年
(6) 制限選挙 (7) 貴族院 (8) C

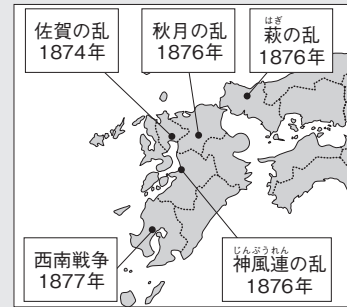
考え方 (2) 国会開設を求める自由民権運動は、都市の知識人、地方の有力な農民、地主や商工業者の間に広まり、全国的な高まりを見せた。

- 2** A エ B ア
C ウ

考え方 Bの絵は衆議院議員総選挙の投票風景、Cの絵は明治天皇から内閣総理大臣黒田清隆に憲法が手わたされる様子をえがいたもの。

- 3** (1) 西郷隆盛・西南戦争
(2) 伊藤博文・ドイツ(プロイセン)
(3) 自由党・板垣退助
(4) 立憲改進黨・大隈重信

考え方 (1) 士族の特権を次々にうばう政府に対して、士族は各地で反乱を起こしたが、西南戦争以降は終息し、もっぱら言論による政府批判が行われるようになった。



▲おもな士族の反乱

定期テスト対策問題

P.52,53

- 1** (1) 自由民権運動 (2) 板垣退助
(3) 西南戦争 (4) 立憲改進黨
(5) B (6) 伊藤博文
(7) (例) ドイツの憲法は君主権が強く、中央集権をめざす政府の考えと一致したから。
(8) イ (9) 貴族院

考え方 (7) 大日本帝国憲法は、君主権の強いドイツ(プロイセン)の憲法を参考にしてつくられたため、それに基づく立法機関である帝国議会も、議会の権限はおさえられ、民主的な機能はたいへん低かった。

- 2** (1) フランス革命
(2) 中江兆民

考え方 (2) 中江兆民は普通選挙の実施や部落解放なども主張した。

- 3** (1) ① 版籍奉還 ② 廃藩置県
(2) 地租改正 (3) 官営模範工場
(4) 福沢諭吉 (5) 渋沢栄一

考え方 (2) 写真は地券である。地券には土地の所有者名・地価などが記載されていた。

15 日清・日露戦争

スタートドリル

P.56,57

- 1 (1) 帝国主義 (2) 領事裁判権
(3) 甲午農民戦争 (4) 台湾
(5) 遼東半島 (6) ポーツマス条約
(7) 南樺太 (8) 韓国併合

考え方 (1) 広大な植民地を持っているイギリス・フランスに対して、新興のドイツ・アメリカ・ロシア・日本などが植民地再分割を求めて、列強間の紛争がたびたび起こるようになった。
(3) 甲午農民戦争が起こると、日清両国は出兵し、反乱の鎮圧後も朝鮮の内政改革に干渉して対立を深めた。
(4) 台湾を植民地とした日本は、台北に台湾総督府を置いて統治した。
(6)・(7) ロシアからの賠償金を得られなかったため、怒った国民が日比谷焼き打ち事件を起こした。
(8) 伊藤博文が満州で暗殺されたこと等が契機となる。

- 2 (1) 辛亥革命
(2) 孫文

考え方 (2) 中国革命の父といわれる人物。中華民国で袁世凱の独裁政治が始まると日本に亡命し、ひき続き革命運動を指導した。

- 3 (1) ① 明治 ② 甲午農民
③ 日清 ④ 下関 ⑤ 日英
⑥ 日露 ⑦ ポーツマス
(2) 帝国

考え方 (1) ④ 1895年、日清戦争の講和会議が山口県下関市で開かれ、日本側全権は伊藤博文・陸奥宗光であっ

た。この会議で、清は日本に台湾などをゆずり、賠償金として日本に2億両を支払うことなどが決められた。

1 欧米の侵略と条約改正

P.58,59

- 1 (1) 岩倉具視 (2) 欧化
(3) 領事裁判権 (4) 関税自主権

考え方 (2) 諸外国は、日本がまだ近代国家としての形を整えていないという理由で、条約改正に応じなかったため、政府はヨーロッパ風の建物や、服装など形をまねようとした。鹿鳴館は東京都千代田区内幸町の現在の帝国ホテルのとなりに建てられた。

- 2 (1) フランス (2) イギリス
(3) アメリカ (4) ロシア

考え方 (3) フィリピンは、16世紀ごろからスペインの植民地だったが、1898年の米西(アメリカ・スペイン)戦争でアメリカが勝ち、アメリカの植民地となった。

- 3 (1) A フランス B イギリス
(2) エチオピア (3) 帝国主義

考え方 (1) アフリカはそのほとんどがヨーロッパ列強の植民地となったが、特に広大な植民地を持ったのは、イギリスとフランスである。イギリスは南北に、フランスは東西に植民地を広げた。
(2) アフリカ北東部の国。

- 4 (1) 日米修好通商条約
(2) 日英通商航海条約
(3) 領事裁判権(治外法権)
(4) 小村寿太郎

- 考え方** (1) 戊辰戦争などのさい、明治政府は、幕府が結んだ条約の引きつぎを欧米に約束し、かわりに中立を守るように要求した。このため不平等条約を引きつぐことになり、政府にとって条約改正は、最重要課題であった。
- (4) 飢肥藩(宮崎県)出身の外交官。日清戦争のときは駐清国代理公使、1901年に外務大臣となり、日英同盟を結び、ポーツマス講和会議には全権として出席した。

2 日清戦争

P.60,61

- 1** (1) 朝鮮 (2) 甲午農民戦争
(3) 日清戦争 (4) 台湾

考え方 (3) 朝鮮を支配下に置いて、大陸への足がかりにしようとした日本は、朝鮮を完全な独立国だと主張したが、清は朝鮮を自国の属国とみなし、両国の対立は深まっていた。

- 2** (1) ロシア (2) 遼東半島
(3) 三国干渉 (4) 租借権

考え方 (3) 日清戦争を終えたばかりの日本には、三国に対抗するだけの軍事力も経済力もなかった。これをきっかけに、日本とロシアの対立は表面化した。

- 3** (1) 三国干渉 (2) 鉄道
(3) 伊藤博文・陸奥宗光
(4) 軍備の拡張 (5) 朝鮮
(6) 甲午農民戦争 (7) 清 (中国)
(8) ②

考え方 (4) 下関条約による賠償金として約3億1000万円、遼東半島返還の還付金として約5000万円、約3億6000

万円があった。そのうち、軍備拡張費が約63%、臨時軍備費が約22%であった。

(8) 1876年に結ばれたDの不平等条約により、朝鮮は開国され、1894年に外国人を排斥するEの反乱が起こった。それをきっかけに始まった日清戦争の結果(C)、Aの干渉が行われた。Bは、戦争に敗れた清に対する列強の中国分割の様子。

3 日露戦争

P.62,63

- 1** (1) 内村鑑三 (2) ポーツマス
(3) 韓国 (4) 孫文

考え方 (1) 幸徳秋水、堺利彦は社会主義者の立場から反対した。

- 2** (1) 義和団事件 (2) 韓国
(3) イギリス (4) 日英同盟

考え方 (1) 義和団の動きにあわせて清は列強に宣戦布告した。
(3) 領事裁判権(治外法権)の撤廃を最初に認めた国。

- 3** (1) 義和団 (2) 扶清滅洋
(3) 日英同盟 (4) 韓国
(5) ポーツマス条約 (6) アメリカ

考え方 (3) イギリスは他国と同盟を結ばずに、「名誉ある孤立」を守っていたが、日英同盟ではじめて他国と同盟を結んだ。
(5) ポーツマスは、アメリカのニューハンプシャー州の大西洋岸にある都市。1905年にこの地で日露戦争の講和条約が結ばれた。

- 4** (1) 辛亥革命 (2) 中華民国
(3) 孫文 (4) 三民主義

考え方 (1) 義和団事件ののち、清は多額の賠償金を支払うために、国民に重税を課した。また、鉄道を担保に外国から資金を借りるなど、外国に接近する態度をとるようになった。一方、国民の間には、外国から国内の権益をとりもどそうとする動きが起こった。このような情勢の中で、革命の気運が高まり、武昌(武漢)での軍隊の蜂起をきっかけに、中南部の多くの省が清からの独立を宣言した。

まとめのドリル

P.64,65

- 1** (1) 朝鮮(半島) (2) 下関
(3) 帝国主義 (4) 台湾
(5) 三国干渉 (6) イ
(7) (例) 関税自主権を回復した。

考え方 (4) 日本の植民地となることが決まると独立運動が起こったが、日本は軍隊を派遣してこれをおさえた。
(7) 領事裁判権の撤廃のほうが先に達成され、関税自主権の回復はあとに残された。

- 2** (1) 遼東半島 (2) 日英
(3) 南樺太 (4) 辛亥革命

考え方 (1) 旅順、大連といった天然の良港があり、満州や朝鮮に進出しようとしていたロシアにとっては、日本がこの地域を領有するのは不都合であった。

- 3** (1) 陸奥宗光 (2) 幸徳秋水
(3) 小村寿太郎 (4) 孫文

考え方 (1) 1892年に第二次伊藤博文内閣の外務大臣に就任し、イギリスとの間で領事裁判権の撤廃に成功、1895年には下関講和会議の全権となる。
(2) 堺利彦らとともに「平民新聞」を発刊

し、日露戦争開戦後も反戦論を主張した。日露戦争に反対を唱えた人物は、かれらのほかにキリスト教徒の内村鑑三などがいる。

16 近代産業の発達

スタートドリル

P.68,69

- 1** (1) 軽工業 (2) 八幡製鉄所
(3) 財閥 (4) 小作人 (5) 足尾

考え方 (1) 1897年の輸出額の約3分の1は生糸で、大部分がアメリカに輸出されていた。
(3) 三井は江戸時代初期に京都と江戸で越後屋呉服店(三越デパートの前身)を開き、両替商も営んで土台を築いた。三菱は岩崎弥太郎の海運業(西南戦争で大利益をあげる)に始まり、明治政府の保護を受けた。住友は江戸時代中ごろから別子銅山と両替商で富を得た。安田は江戸時代に両替商を始めた。
(5) 足尾銅山は江戸時代はじめに採掘が始まり、江戸幕府が直轄とした。1877年から古河市兵衛によって経営されていた。

- 2** (1) 福沢諭吉 (2) 二葉亭四迷
(3) 樋口一葉 (4) フェノロサ
(5) 北里柴三郎

考え方 (2) 東京都出身の小説家。坪内逍遙の指導で小説を書き、話し言葉と一致した文学(言文一致)で「浮雲」を発表した。
(5) 熊本県出身の細菌学者。東京大学医学部を卒業し、内務省に入る。ドイツに留学してコッホの研究所に

入り、破傷風の血清療法を発見し、北里の名は全世界に広がった。帰国後に伝染病研究所を設置し、ペスト菌を発見する。のちに私財で北里研究所を設置し、ここがのちの北里大学となる。

- 3 (1) ① 軽 ② 田中正造 ③ 八幡
④ 樋口一葉 ⑤ 志賀潔
⑥ 滝廉太郎 ⑦ 夏目漱石
(2) 産業革命

【考え方】 (1) ④ 東京都生まれの小説家。20歳で小説を書き始め、「たけくらべ」や「にごりえ」などの代表作があるが、結核のため24歳でなくなる。

1 産業革命の進展

P.70,71

- 1 (1) 八幡製鉄所 (2) 財閥
(3) 大逆事件 (4) 田中正造

【考え方】 (4) 古河財閥が経営する足尾銅山の鉱毒事件を帝国議会でうったえ、再三にわたり政府を追及したが、効果はなかった。そこで衆議院議員を辞職すると、1901年に天皇への直訴をくだてた。

- 2 (1) 産業革命 (2) 生糸
(3) 養蚕業 (4) 八幡製鉄所
(5) 重工業

【考え方】 (1) 日本の産業革命が始まったのは、明治中期の1880年代半ば。日清戦争の前後に紡績業を中心とするせいの工業で本格化し、1901年の八幡製鉄所の操業開始によって重工業部門にもおよんだ。18世紀後半に始まったイギリスの産業革命から、ほぼ100年おけている。

- 3 (1) 軽工業 (せんい工業) (2) 財閥
(3) 小作 (4) ストライキ

【考え方】 (3) 明治の末には、小作地が全耕地の45%をこえるようになった。小作料として収穫高の半分くらいを地主に納めていたので生活は苦しかった。小作人の中には、都市に出て労働者となる者も多かった。

- 4 (1) 八幡製鉄所 (2) 足尾銅山
(3) 田中正造

【考え方】 (1) 日清戦争後、鉄鋼の自給をめざして北九州につくられた官営模範工場。石炭は近くの筑豊炭田からとり、鉄鉱石は中国から輸入した。

2 近代文化の形成

P.72,73

- 1 (1) 6年 (2) 大隈重信
(3) 北里柴三郎

【考え方】 (1) 1886年の学校令では、義務教育は4年であった。1907年に小学校令が改正され、義務教育は6年となった。
(3) 志賀潔は赤痢菌を発見した。野口英世は黄熱病の研究にとり組んだが、西アフリカで黄熱病にかかってなくなった。

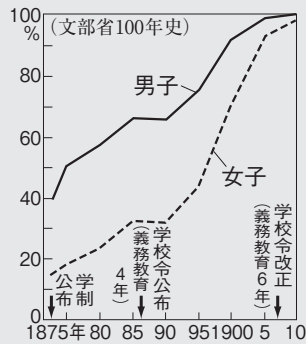
- 2 (1) 滝廉太郎 (2) 二葉亭四迷
(3) 長岡半太郎 (4) 夏目漱石
(5) 黒田清輝

【考え方】 (4) イギリス留学ののち、豊かな教養と人生観を作品にあらわし、新聞連載の「三郎」をはじめ「坊っちゃん」、「それから」など、数多くの作品を残した。
(5) パリに留学して法律を学んだが、絵画に情熱を持つようになり、セザ

ンヌ・ルノアール・ゴッホなどの印象派の影響を受けた。代表作「読書」は、フランス留学中の作品。

- 3** (1) 学制 (2) 4
(3) 6 (4) 家

考え方 政府の熱心な教育政策と国民の教育熱の高まりによって、義務教育の就学率とともに、進学率も高まった。



▲義務教育の就学率

- 4** (1) 志賀潔 (2) ○
(3) フェノロサ (4) 石川啄木
(5) 森鷗外

考え方 (3) 政府に招かれて来日し、東京大学で哲学などを講義するかたわら、日本美術に関心を持ち、その復興に努めた。

(5) ヨーロッパの文学を日本に紹介するとともに、知的で客観的な作風をうちたてた。「阿部一族」「雁」などが代表的作品。

まとめのドリル

P.74,75

- 1** (1) 八幡 (2) 幸徳秋水
(3) 製糸業 (4) 鉄鉱石
(5) 田中正造 (6) アメリカ
(7) D (8) 日清戦争

考え方 (2) 当時の刑法に「天皇とその近親

者に危害を加えた者、および危害を加えようとした者」に関する規定があり、この罪を大逆罪^{たいぎやくざい}といった。大逆罪を犯した者は死刑と定められ、幸徳秋水ら社会主義者たちも、この罪に問われて死刑となったが、その多くは無実であったといわれる。

- 2** (1) 学制 (2) 教育勅語
(3) 6 (4) 福沢諭吉

考え方 (1) 学制が出された当時、就学率が低かったのは、授業料が高かったことや、一家の働き手である子どもが学校へ行ってしまうと困る親がいたから。子守奉公で義務教育を受けられない子どものために、各地に特別学級がつくられた。

- 3** (1) 横山大観 (2) 二葉亭四迷
(3) 滝廉太郎 (4) 北里柴三郎
(5) 津田梅子

考え方 (1) フェノロサや岡倉天心にみいだされた日本画の横山大観は、洋画の手法を取り入れてすぐれた作品を残した。
(3) ライプチヒ王立音楽院に留学したが、肺結核のために24歳という若さでなくなった。作品には「荒城の月」、「お正月」(もういくつねるとお正月……)などがある。

定期テスト対策問題

P.76,77

- 1** (1) 義和団 (2) 領事裁判権
(3) ロシア (4) 幸徳秋水 (5) E
(6) (例) ロシアから賠償金が得られなかったから。
(7) 韓国併合 (8) 中華民国

考え方 (6) 多大な犠牲を払った国民にとって、ロシアから賠償金を取れなかつ

たことは大きな不満であった。しかし、現実には、日本には戦争を継続する国力がなかったため、日本のたび重なる譲歩によって、ようやくポーツマス条約が成立した。

- 2 (1) 帝国主義 (2) 三国干渉
(3) 与謝野晶子 (4) 三民主義

【考え方】 (4) 中国の革命運動の基本理論とされた。孫文は革命が成功すると、臨時政府の臨時大總統となったが、間もなく、清をほろぼした軍閥(実際に実力を持った勢力)である袁世凱に大總統の地位をゆずった。

- 3 (1) イ (2) 財閥 (3) くわ
(4) 八幡製鉄所 (5) 足尾銅山

【考え方】 (4) 日清戦争後、清からの賠償金で、鉄鋼の自給をめざしてつくられた官営工場。政府は、三国干渉に屈したことを反省し、鉄鋼業を中心とした重工業を発展させて、軍備を増強しようとした。

17 第一次世界大戦とアジア・日本

スタートドリル

P.80,81

- 1 (1) 三国協商 (2) ロシア
(3) 五・四運動 (4) 吉野作造
(5) 米騒動 (6) 原敬
(7) 治安維持法

【考え方】 (1) 1882年、ドイツ・オーストリア・イタリアが三国同盟を結んだ。これに対して、1891年にロシア・フランスの同盟、1904年にイギリス・フランスの協商、1907年にイギリス・ロシアの協商が成立し、ド

イツ・オーストリアに対する三国協商ができた。

(3) 1919年5月4日、北京の学生が日本の対中国政策に反対してデモ運動を行い、これをきっかけに国民の間に広まった運動のこと。学生たちは街頭でピラをまき、国産品を売って歩き、日本商品のボイコットをうったえた。

(6) 爵位を持たなかったことから「平民宰相」と呼ばれた。1921年、東京駅で一青年に暗殺された。

- 2 (1) 全国水平社 (2) 関東大震災
(3) ラジオ

【考え方】 (2) 1923年9月1日、相模湾を震源とする大地震が起こり、関東全域・静岡・山梨の一部に大きな被害をあたえた。このとき、朝鮮人が放火した、暴動を起こすなどの流言が伝わり、各地で多くの朝鮮人が殺された。また、社会主義者の大杉栄が憲兵大尉らに殺された。

(3) 1925年3月1日にラジオ放送が開始され、東京・愛宕山に専属の放送局がつくられた。

- 3 (1) ① 日英同盟 ② シベリア
③ ベルサイユ ④ 国際連盟
⑤ 米騒動 ⑥ 原敬
⑦ 普通選挙 (2) 女性

【考え方】 (1) 対外的には第一次世界大戦への関わりと国際協調、国内ではデモクラシーの流れを理解しよう。

1 第一次世界大戦と日本 P.82,83

- 1 (1) ① 三国同盟 ② 三国協商
(2) イタリア (3) ① バルカン
② オスマン帝国

考え方 (2) 連合側とは三国協商側に立った国々。第一次世界大戦が始まると、イタリアはイギリス・フランス側に立って参戦した。

(3) バルカン半島は複雑な民族構成と、イスラム教、キリスト教など宗教上の対立もあって、20世紀には数度にわたる戦争が起こった。

- 2** (1) 火薬庫 (2) ① セルビア
② オーストリア (3) 飛行機
(4) ヨーロッパ

考え方 (3)・(4) それまでの戦争は、職業軍人同士が戦うことが主で、民間人は戦場付近以外では被害にあうことは少なかったが、第一次世界大戦では、兵器が格段に進歩したこともあって、多数の民間人や民間施設が巻きこまれて被害を受けた。

- 3** (1) イ (2) イギリス (3) ウ
(4) 成金

考え方 (1) ドイツが中国に租借していた青島やドイツ領の南洋諸島を攻撃した。
(4) 将棋で、「歩」が敵陣に入ると、「金」に変わって強い力を持つことになるのになどといった言葉。

- 4** (1) アメリカ
(2) 二十一条の要求 (3) レーニン
(4) ソビエト社会主義共和国連邦 (ソ連)

考え方 (1) ドイツの無制限潜水艦作戦で中立国の船も攻撃するようになると、中立を守っていたアメリカは連合側に立って参戦した。

(2) 日本の強い圧力で要求の大部分を袁世凱政府が認めると、中国全土で反日運動が起こった。

2 国際協調の時代

P.84,85

- 1** (1) パリ (2) ウィルソン
(3) ベルサイユ (4) 日本

考え方 (2) リンカーンは南北戦争のとき、ワシントンはアメリカ独立戦争後の初代のアメリカ大統領。
(3) パリで講和会議が開かれ、パリ郊外にあるベルサイユ宮殿で講和条約が結ばれた。

- 2** (1) ① 国際連盟 ② 常任理事国
③ アメリカ ④ ドイツ
(2) ワシントン会議

考え方 (1) ③ アメリカは、ヨーロッパ諸国のアメリカ大陸への干渉を排除するために、ヨーロッパのことは干渉しないという立場を取ってきた。これは第5代大統領モンローが宣言したのでモンロー主義といわれる。この孤立政策によって、国際連盟への加盟は議会で否決された。
(2) この会議で日英同盟の廃止が決められた。また、海軍の主力艦の保有数を制限する条約も結ばれた。

- 3** (1) 民族自決
(2) フランス・イギリス (3) ウ

考え方 (2) オーストリアは敗戦国、中国は中立国。アメリカはウィルソン大統領の下に平和外交を展開した。
(3) ベルサイユ条約では、ドイツに対して厳しい制裁措置がとられ、ドイツには多額の賠償金の支払いが課せられた。

- 4** (1) ジュネーブ (2) 日英同盟
(3) 日本 (4) ワシントン海軍軍縮条約

考え方 (2) 日本はこの同盟を口実に、第一

次世界大戦に参戦した。

(4) 主力艦の総トン数の比率を定めた条約。英：米：日：仏：伊＝5：5：3：1.67：1.67と規定した。

3 民主主義と民族運動

P.86,87

- 1 (1) アジア (2) ウィルソン
(3) 中国 (4) 日本 (5) イギリス

考え方 (2) 大戦中にアメリカ大統領ウィルソンは、十四か条の平和原則で民族自決を提唱した。
(3) パリ講和会議で二十一か条の要求の解消が認められなかった5月4日に、中国全土で激しい反日運動が始まった。五・四運動という。
(4) 1919年3月1日に、日本の植民地支配に対して独立宣言が発表され、朝鮮全土で独立運動が起こった。これを三・一独立運動という。

- 2 (1) ロシア (2) 参政権
(3) アメリカ (4) イギリス
(5) 普通

考え方 (1) ロシア革命は史上はじめての社会主義革命で、世界各国で社会主義運動がさかんになった。

- 3 (1) ア (2) ① 五・四運動
② 三・一独立運動 (3) ガンディー
(4) ① 非 ② 不

考え方 (1) 戦場となったヨーロッパの帝国主義諸国は、戦争であれ果てて国力がおとろえた。
(3)・(4) 大戦中イギリスは、戦後の自治を約束してインド兵をつのった。しかし、この約束は一部しか守られなかった。

- 4 (1) ワイマルル憲法 (2) ウ
(3) イ

考え方 (2) 多くの連邦から成っていたドイツは、1871年にプロイセンを中心にドイツ帝国として統一されたが、大戦末期に革命が起こり、皇帝が退位して共和国となった。

4 大正デモクラシー

P.88,89

- 1 (1) 大正デモクラシー (2) 米騒動
(3) 関東大震災 (4) 普通選挙法

考え方 (2) 富山県魚津町(今の魚津市)の漁民の主婦たちが大挙して米屋におしかけたことをきっかけに、全国に波及した。
(4) 普通選挙とっているが、女性には参政権がなく、本当の意味での普通選挙制度ではない。

- 2 (1) 民本主義 (2) 原敬
(3) 治安維持法

考え方 (1) 日本は天皇主権の国であるので、民主主義では天皇に背くことになるのと、民衆の幸福を根本に考えるという意味で「民本主義」と唱えた。
(2) 米騒動の直後に、非立憲的であると非難された寺内正毅内閣に代わって組閣した。外務・陸軍・海軍以外の大臣をすべて政党员から選んだ。
(3) 国体の変革や私有財産制を否定する動き、すなわち社会主義運動や共産主義運動を取りしめるために定められた。

- 3 (1) 桂太郎 (2) 立憲政友会
(3) 4

考え方 (1) 第一次護憲運動にはジャーナリストや都市に住む市民なども加わった。

(2) 伊藤博文^{いとうひろぶみ}が1900年に結成した政党。

(3) 普通選挙法^{ふつうせんきょほう}によって選挙権の納税額による制限がなくなり、有権者^{おほほば}数は大幅に増えた。

- 4 (1) ① 小作争議 ② 日本共産
(2) 全国水平社 (3) 新婦人協会

【考え方】 (1) ① 地主に対し、小作人が小作条件の改善を求め^{とうそう}る闘争。
(2) 明治初期に出された解放令で、部落差別は制度としては禁止されたが、差別は根強く残った。

まとめのドリル

P.90,91

- 1 (1) A オーストリア B イタリア
C ドイツ D ロシア
E フランス F イギリス
(2) ワイマル憲法 (ドイツ共和国憲法)
(3) レーニン (4) シベリア出兵
(5) 国際連盟 (6) 日英同盟^{にちえい}

【考え方】 (1) B国は、大戦後に戦勝国としてイギリス・フランス・日本とともに国際連盟の常任理事国となった。
(3)・(4) Dの革命とは、ロシア革命のこと。
(5) Eの講和会議とは、パリ講和会議のこと。

- 2 (1) ① 二十一条の要求
② 政党内閣 ③ 治安維持法^{いじほう}
こめそうどう
(2) 米騒動 (3) 25

【考え方】 (1) ② 政党の党首が内閣を組織した例は、1898(明治31)年の第一次大隈重信内閣がある。板垣退助が内務大臣となったので隈板内閣といわれたが、憲政の党内抗争で四か月で崩壊した。③ 普通選挙法と

年に制定されていることに注目する。

(3) 年齢制限^{ねんれい}は、第一回総選挙のときと変わっていない。

- 3 (1) 輸出 (2) 不景気になった。
(3) 日本労働総同盟

【考え方】 (2) 大戦後に輸入・輸出とも減少している。このことから、大戦景気といわれた好景気が終わって、日本が不景気にみまわれていたことがわかる。

18 第二次世界大戦とアジア

スタートドリル

P.94,95

- 1 (1) ブロック経済 (2) ヒトラー
(3) 満州事変^{まんしゅうじへん} (4) 犬養毅^{いぬかいつよし}
(5) 第二次世界大戦 (6) 太平洋戦争
(7) ポツダム宣言

【考え方】 (1) イギリス、フランスは広大な植民地を持つため、この政策が可能であった。
(4) 五・一五事件^{ごいちご}後、軍部は政党内閣では青年将校をおさえられないとして、海軍大将齋藤実^{さいどうまこと}を首相とした。
(6) 同時にイギリス領のマレー半島にも上陸した。

- 2 (1) 国家総動員法
(2) 学徒出陣^{しゅつじん} (3) 疎開^{そかい}

【考え方】 (1) 労務、物資、施設^{しせつ}などの経済部門や国民生活のすべてを、勅令^{ちよくれい}で政府の統制下におくことを認める法律であった。
(2) 理工系を除いて学生の徴兵猶予^{ちようへいゆうよ}が廃止^{はいし}され、1943年12月、最初の学徒が戦場へ向かった。

- 3 (1) ① 昭和 ② 五・一五事件
③ 二・二六事件
④ ポツダム ⑤ 世界恐慌
⑥ 満州事変 ⑦ ドイツ
(2) 東条英機

考え方 国内の政党政治が、経済面でも外交面でも追い詰められていく中で、日本はどのように戦争に向かっていったのか、諸外国との関係とも合わせて理解しておきたい。

1 世界恐慌とブロック経済 P.96,97

- 1 (1) ニューヨーク (2) ① イギリス
② ブロック経済 (3) ① アメリカ
② ニューディール

考え方 (1) 第一次世界大戦後、世界経済の中心はヨーロッパからアメリカに移った。
(2) ブロック経済をとった国は、イギリスとともに多くの海外植民地を持っていたフランスである。
(3) ニューディール(新規まき直し)では、大規模な公共事業や政府による農作物の買い入れなどが行われた。

- 2 (1) ヒトラー (2) 独裁
(3) ベルサイユ (4) イタリア
(5) エチオピア

考え方 (1) 国民社会主義ドイツ労働者党はナチス(ナチ党)と呼ばれた。(3) ベルサイユ条約は、ドイツに多額の賠償金支払いを義務づけるとともに、軍備を禁止していた。

- 3 (1) ソ連 (2) 五か年計画
(3) ウ (4) 財閥

考え方 (2) 経済の発展計画を五か年ごとに区切って継続的に実施したもの。農

業の集団化、工業の重工業化が進められたが、計画の過程で多くの反対者が粛清された。

- (3) 世界恐慌から派生した昭和恐慌によって社会不安が広がった。
(4) 多くの中小銀行が倒産したが、財閥系の大銀行はこれらを吸収して、日本経済を支配するような大きな資本力を持つようになった。

- 4 (1) ローズベルト (2) ムッソリーニ
(3) ナチス (4) ファシズム
(5) 昭和恐慌

考え方 (1) ローズベルトというアメリカ大統領は二人いる。日露戦争の講和を仲介したセオドア・ローズベルトと、ニューディールを推進したフランクリン・ローズベルトである。
(4) イタリアのムッソリーニは、1919年に「戦闘ファッショ」を結成し、1921年に「ファシスト党」に改めた。

2 日本の中国侵略 P.98,99

- 1 (1) ① 蒋介石 (2) ① 満州国
② 国際連盟 (3) 日中戦争
(4) 中国共産党

考え方 (1) 孫文は中国国民党の創設者で、1925年に死去している。毛沢東は中国共産党の指導者。
(2) ① 満州国の執政には清朝最後の皇帝の宣統帝溥儀がつき、のちに皇帝となった。② リットン調査団の報告を受けて、国際連盟総会は反対が日本のみという圧倒的多数で、日本軍の撤兵勧告を議決した。

- 2 (1) 満州事変 (2) 五・一五事件
(3) 抗日民族統一戦線

考え方 (2) この事件以降、軍人^{かんりょう}や官僚^{かんりょう}を首相とする内閣がつくられるようになり、政党政治は戦後まで行われなかった。

- 3** (1) ① 五・一五^{ごいちご} ② 二・二六^{ににろく}
(2) ① ウ ② ア (3) 清(朝)
(4) ア (5) 北京^{ペキン} (6) 議会(国会)
(7) 政党 (8) 隣組^{とりにぐみ}

考え方 (1) ① 政党政治に不満を持った海軍の青年将校らは、政府の指導者をたおせば政治が改まると考え、首相を暗殺した。 ② 陸軍の青年将校らが部隊を率いて反乱を起こし、東京の中心部を占領^{せんりょう}して多数の要人を殺傷するなどした。
(3) 清朝はもともと満州族が建国した。
(7) 議会で政府の方針に反対する政党はなくなった。

3 第二次世界大戦

P.100,101

- 1** (1) ① ポーランド
② 第二次世界大戦
(2) ① ハワイ ② 太平洋戦争

考え方 (1) ① イギリス・フランスはドイツに対して妥協^{だきようてき}的であり、ドイツのチェコスロバキア西部の併合やオーストリア併合を認めてきたが、ドイツのポーランド侵入^{しんにゅう}にはポーランドと同盟を結んでいたことから、ドイツに宣戦布告をした。 ② 戦局ははじめ枢軸国(ドイツなど)が優勢^{すうじくこく}で、ドイツは1940年にフランスを降伏させ、イギリスを除くヨーロッパのほとんどの国を枢軸国が支配下に置いた。
(2) アメリカは当初、第二次世界大

戦に中立の立場をとっていた。日本がアメリカに宣戦布告するとドイツ・イタリアもアメリカに宣戦した。

- 2** (1) 独ソ不可侵条約
(2) 日独伊三国同盟^{にちどくい}
(3) ① 大東亜共栄圏^{だいたうあきやうえいけん}
② 日ソ中立条約

考え方 (2) 日本は、ヨーロッパでドイツ軍が優勢なのを見て、ドイツ・イタリアとの間で軍事同盟を結んだ。
(3) ① 日本は、アジアから欧米^{おうべい}の勢力を排除し、アジア民族だけで繁栄^{はんえい}する新しい秩序^{ちつじょ}を築こうと主張したが、実際には、欧米諸国に代わって日本がアジアを支配するのが目的であった。

- 3** (1) イ (2) ポーランド (3) イ
(4) ① 日中^{しんじゅうわん} ② フランス
(5) ① 真珠湾 ② マレー

考え方 (4) ② 1940年、ドイツ軍に首都パリを占領^{せんりょう}され、降伏^{こうふく}した国。
(5) ② マレー半島の南端^{なんたん}には、イギリスのアジア政策の根拠地^{こんきよち}となっていたシンガポールがあった。日本軍は、1942年2月にシンガポールを占領した。

4 戦争の終結

P.102,103

- 1** (1) ミッドウェー (2) 疎開^{そかい}
(3) ① ヤルタ ② ソ連

考え方 (1) この海戦で日本海軍は優秀^{ゆうしゅう}なパイロットを多く失うなどの大打撃^{だげき}を受け、太平洋の制海権はアメリカに移った。
(2) アメリカ軍の空襲^{くうしゅう}は、大都市や軍需工場のある都市が目標とされた

ため、都市の児童は地方に避難^{ひなん}させられた。

(3) 第二次世界大戦の戦後処理をめぐって、アメリカ・イギリスの資本主義国と、社会主義国であるソ連^{れん}の間で、多くのかけひきが行われた。

- 2 (1) ドイツ (2) ポツダム宣言
(3) 広島 (4) 中立条約

考え方 (1) ドイツは首都ベルリンが占領^{せんりょう}され、ヒトラーが自殺して、連合国に無条件降伏した。

(2) 第二次世界大戦の終結が間近になると、連合国はベルリン郊外^{こうがい}のポツダムで会談を開き、日本の降伏条件などを示した宣言を発表した。これに対して日本は、ポツダム宣言を無視する方針をとった。

(3) 広島には1945年8月6日、長崎には3日後の8月9日に原子爆弾^{げん し ばくだん}が投下された。

- 3 (1) ① ヤルタ会談 ② 沖縄
③ ポツダム宣言 (2) 原子爆弾(原爆)
(3) (日ソ) 中立条約

考え方 (1) ② 沖縄では高校生や女学生なども動員され、民間人にも多くの死者が出た。

4 ウ

考え方 徴兵^{ちようへい}によって労働者が不足したため、学生や女学生が勤労に動員され、軍需工場^{ぐんじゆ}で働いた。また、学徒出陣^{しやつじん}といって、文科系の学生を中心に徴兵されて戦場へ向かった。

まとめのドリル

P.104,105

- 1 (1) 世界恐慌^{きやうこう}

- (2) ① ニューディール
② ブロック経済 (3) ① ヒトラー
② エチオピア ③ 満州事変^{まんしゅうじ へん}
④ ABCD 包囲陣

考え方 (2) ① 失業者対策として、テネシー川の総合開発などの公共事業が行われた。

(3) ① ドイツは世界恐慌^{えいきやう}の影響で、空前のインフレーションにみまわれ、経済が破綻^{はたん}状態になった。このような中で、ヒトラーはベルサイユ条約の破棄^{はき}やユダヤ人の陰謀^{いんぼう}を主張して大衆の支持を受け、選挙によって政権をにぎった。③ 満州は日本の重要な市場であり、原料供給地であった。また、南満州鉄道^{きやうがく}は巨額の利益を生み出していた。日本からは、恐慌の影響で苦しい生活をしていた農村の人々を中心に、開拓団^{かいたくだん}が組織されて満州にわたった。

- 2 (1) ① 五・一五事件^{ご いちご} (2) エ
(3) 大東亜共栄圏^{だいとうあきやうけん} (4) 国家総動員法
(5) ポーランド
(6) 日本・ドイツ・イタリア
(7) アメリカ (8) ポツダム宣言

考え方 (2) 満州事変の後、日本は満州からの撤退^{てつたい}を勧告^{かんこく}され、1933年、国際連盟^{だつたい}を脱退した。以後、日本は国際的に孤立し、軍縮条約を破棄^{はき}して軍備の拡大に進んでいった。

(3) 日本の南進政策は、東南アジアの石油・すず・ゴム・米などの獲得^{かくとく}をめざすもので、アメリカやイギリスの利益と衝突^{しょうとつ}するものであった。日本は、大東亜共栄圏の建設を主張し、南進を進めた。

定期テスト対策問題

P.106,107

- 1** (1) バルカン (2) シベリア
(3) ① 民族自決
② 三・一独立運動 (4) イ
(5) 関東大震災
(6) ① 25 ② 治安維持法
(7) 憲政の常道

考え方 (1) 複雑な民族・宗教の対立があり、「ヨーロッパの火薬庫」と呼ばれた。
(2) 絵は米騒動をえがいた絵である。各地の米騒動に対し、政府は軍隊を動員して鎮圧に努めた。
(3) ① 第一次世界大戦後は、この原則に基づいて民族運動が活発になった。東ヨーロッパでは、ベルサイユ条約などによって多くの民族国家が承認された。アジアやアフリカでも民族の独立を求める運動がさかんになったが、これらの地域を植民地としていた列強は、独立を認めなかった。なお、十四か条の平和原則などで世界平和に貢献したとして、ウィルソンは1919年にノーベル平和賞を受賞している。

- 2** (1) ウ (2) ① 五・一五
② ポーランド
(3) ニューディール (新規まき直し)

考え方 (1) ベルサイユ条約は、第一次世界大戦における連合国とドイツとの講和条約であるから、Aはドイツである。また、国内の大規模な公共事業を行ったという記述からBはアメリカである。Cは人名などから日本であることは確実である。Dは「イギリスとともに…宣戦」「1940年、枢軸国に降伏」から、フランスであることがわかる。

- 3** (1) 広島：8月6日 長崎：8月9日
(2) ヤルタ会談
(3) イ (4) 玉音放送

考え方 (3) ポツダム宣言の内容は、日本の軍国主義の排除、軍隊の武装解除、領土の制限、民主化の促進などであった。日本政府は天皇の地位がおびやかされると考えて、ポツダム宣言を無視する態度をとった。

19 日本の民主化と国際社会への参加

スタートドリル

P.110,111

- 1** (1) マッカーサー (2) 日本国憲法
(3) 国際連合 (4) 中華人民共和国
(5) 朝鮮戦争 (6) 警察予備隊
(7) 平和条約

考え方 (2) 日本国憲法は、国民主権、基本的人権の尊重、平和主義の三つの柱がある。大日本帝国憲法で主権者とされた天皇は、日本国と国民統合の象徴とされ、統治権を失った。
(7) アメリカとソ連の対立が深まると、アメリカは日本をアメリカ側にとめておきたいという考えが強まり、講和を急ぐことになった。1951年、アメリカのサンフランシスコに52か国の代表が集まり、日本との講和会議が開かれた。ソ連など3か国が条約に反対したが、日本は48か国とサンフランシスコ平和条約を結び、翌年の4月に独立をとりもどした。

- 2** (1) 財閥 (2) 労働基準法
(3) 農地改革

考え方 (3) 農地改革以前の日本の農民は、4分の3以上が小作農などであった。

小作農は地主に収穫の半分以上の小作料を支払っていた。

- 3 (1) ① 日本国 ② 教育基本法
③ 民法 ④ サンフランシスコ平和
⑤ 日ソ共同宣言
⑥ 国際連合 ⑦ 朝鮮 (2) 民主

考え方 (1) ⑥ 1945年2月～6月のサンフランシスコでの連合国全体会議で、51か国の代表により国際連合憲章が採択された。1945年10月24日、51か国の過半数の26か国が批准を終わり、国際連合憲章と、これに基づく国際連合が正式に成立した。

1 占領と日本の民主化 P.112,113

- 1 (1) マッカーサー (2) ポツダム宣言
(3) 財閥 (4) 農地改革

考え方 (1) 日本の占領政策は、連合国の代表で構成される極東委員会が最高議決機関であったが、実質的にはアメリカ軍中心の連合国軍最高司令官総司令部(GHQ)が強い力を持ち、最高司令官はアメリカ陸軍元帥のマッカーサーだった。
(3) 戦前、日本の経済を支配したのは、三井、三菱、住友、安田といった財閥だった。
(4) 本州では不在地主の農地の全部と、在村地主の一町歩以上の農地を国が強制的に買い上げ、小作人に安く売りわたした。

- 2 (1) 1946 (2) 国民
(3) 基本的人権 (4) 平和
(5) 象徴 (6) 教育基本
(7) 労働基準

考え方 (1) 公布は1946年11月3日、施行

は1947年5月3日。11月3日は文化の日、5月3日は憲法記念日として国民の祝日になっている。

(6) 教育勅語の忠君愛国に代わり、民主的な教育の原則が示された。これに従って学校教育法が制定され、6・3・3・4制の教育が始まった。

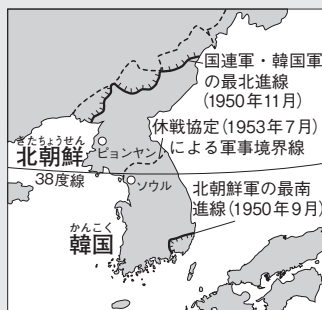
- 3 (1) ① 軍隊 ② 日本共産党
③ 自作農 (2) 治安維持法
(3) 大政翼賛会 (4) ① 20
② 男女 (5) 民法 (6) 独占禁止法

考え方 (2) 共産主義運動を取りしめるための法律だったが、戦時体制下ではキリスト教徒や自由主義者も取りしめりの対象となった。
(4) ② 女性参政権が認められ、戦後第一回の総選挙では多くの女性議員が当選した。
(5) 憲法に規定された「両性の本質的平等」の原則に従って新民法が制定された。

2 二つの世界とアジア P.114,115

- 1 (1) ① 朝鮮民主主義人民共和国
② 大韓民国 (2) 朝鮮戦争
(3) ① 資本主義 ② 共産主義
(4) 冷戦 (5) ① 北大西洋条約機構
② ワルシャワ条約機構

考え方 (1) 朝鮮半島は日本の無条件降伏後、二つの国に分かれて独立していった。
(2) 国際連合の安全保障理事会は、ソ連が欠席している間に、朝鮮戦争を北朝鮮の侵略と認定し、韓国を援助するために国連軍の派遣を決めた。
(5) ① 略称をNATOという。



▲朝鮮戦争

2 (1) 国際連合 (2) 毛沢東

考え方 (1) 国際連盟が第二次世界大戦を防ぐことができなかったことを反省し、新たにつくられた国際組織。大国に国際平和についての責任を負わせ、大国の一致によって平和を守ろうとした。敗戦国の日本は、最初加盟を認められなかった。

(2) 日中戦争の開始以後、統一戦線を組んでいた国民党と共産党は、日本の降伏後に対立が再燃して、再び内戦が始まった。やがて共産党が優勢になると、国民党は台湾に逃れ、中国本土は共産党によって統一された。

- 3** (1) ① (中国) 共産党 ② 台湾
③ アメリカ (2) 中華人民共和国
(3) 毛沢東
(4) ① ⑥ 北大西洋条約機構 (NATO)
⑦ ワルシャワ条約機構
② 冷戦 (冷たい戦争) ③ ドイツ

考え方 (4) ① ワルシャワ条約機構は、ポーランドの首都ワルシャワで結ばれた条約で成立した軍事同盟。
③ 第二次世界大戦末期、ドイツは、東からソ連、西からアメリカを中心とした連合軍によって攻撃され、それぞれの占領地が戦後も固定されていた。ソ連の占領地にはドイツ民主

共和国(東ドイツ)、アメリカ・イギリスなどの占領地にはドイツ連邦共和国(西ドイツ)が成立した。

3 国際社会に復帰する日本 P.116,117

- 1** (1) 共産主義 (2) ① 朝鮮戦争
② 中国 ③ 38 (3) 警察予備隊

考え方 (2) 北朝鮮と韓国の統一をめぐる争いから起こった戦争。北緯38度線を境に戦局は一進一退が続いた。1953年に休戦協定が結ばれて戦闘は停止したが、現在でもこの状態が続いている。

(3) 日本に駐留していたアメリカ軍が朝鮮戦争に出動する留守に、警察予備隊によって日本を守ることを目的とした。1952年に保安隊、1954年に自衛隊と改称・拡大され、現在に至っている。

- 2** (1) サンフランシスコ
(2) ① 日ソ共同宣言 ② 国際連合

考え方 (1) ソ連はサンフランシスコ平和条約に調印せず、中国は会議に招かれなかった。日本国内では、ソ連・中国をふくめたすべての交戦国と講和を結ぶべきだという全面講和論も唱えられたが、政府は調印を進めた。
(2) ソ連は日ソ共同宣言までは、国連の安全保障理事会で拒否権を行使して、日本の国連加盟に反対していた。

- 3** (1) 吉田茂 (2) 日米安全保障条約
(3) 朝鮮戦争 (4) 自衛隊

考え方 (2) この条約によって、アメリカ軍は占領の終結後も、日本に駐留し続けることになり、日本は西側陣営にはっきりと組みこまれることになった。

(4) 自衛隊の存在は、戦力の保持を禁じた日本国憲法第9条との関係で、多くの議論を生んだ。日本政府は、自衛隊は憲法が禁じる戦力にはあたらないという立場を取っている。

4 ア

【考え方】 ワシントン会議は、大正後期に当時の有力国が海軍の主力艦などの軍縮を進めるために開催された。ポーツマス条約は、日露戦争の講和条約である。下関条約は、日清戦争の講和条約である。

まとめのドリル

P.118,119

- 1 (1) 国際連合 (2) 朝鮮戦争
(3) サンフランシスコ
(4) 日ソ共同宣言 (5) ① ア
② ア ③ イ (6) 農地改革

【考え方】 (1) 総会・安全保障理事会を中心機関として、多くの専門機関がある。本部はニューヨークに置かれている。
(2) この戦争が起こると、日本は国連軍への物資供給地となり、特需景気と呼ばれる好景気が起こった。その結果、日本の復興が進み、工業生産は戦前の水準に回復した。
(3) 平和条約の名称に、講和会議の開かれた都市名がついている。この平和条約によって、日本は朝鮮の独立を承認し、台湾・南樺太・千島などの権利を放棄した。また、沖縄と奄美群島・小笠原諸島は、引き続きアメリカの統治下に置かれることになった。
(5) ① 1949年成立。② 労働三法とは、労働基準法・労働組合法・労働関係調整法のこと。1945～47

年に制定された。③ 朝鮮戦争が始まった2か月後のことで1950年。
(6) 自作農が増えて小作農が減っていることを読みとる。

- 2 (1) イ (2) a 中国 b インド
c ソ連 (3) A ニューヨーク
B 総会

【考え方】 (2) a 中国が招かれなかったのは、中華人民共和国政府と台湾に逃れた中華民国政府のどちらが中国を代表する政府であるかをめぐって、連合国の間に対立があったため。

20 国際社会と日本

スタートドリル

P.122,123

- 1 (1) アフリカ (2) 非核三原則
(3) アフガニスタン (4) ドイツ
(5) ソ連

【考え方】 (1) 1955年、インドネシアのバンドンに29か国の代表が集まった。アジア・アフリカだけの国際会議はじめてであった。会議では、すべての植民地の解放、民族の独立、原水爆禁止、戦争反対などが決められた。
(2) 1967年、当時の佐藤栄作首相が衆議院予算委員会で、核兵器を「持たず、つくらず、持ちこませず」の三原則を表明し、政府の基本政策とした。1971年には、衆議院本会議で決議を採択した。
(4) 1989年、ベルリンを東西に分断していたベルリンの壁が崩壊した。翌年、西ドイツが東ドイツを吸収する形でドイツが統一した。

- 2** (1) 四日市ぜんそく (2) バブル経済
(3) 貿易摩擦 (4) SDGs
(5) 地球温暖化

考え方 (1) 三重県四日市市で、石油化学コンビナートから出された硫黄酸化物によって発生したぜんそくで、大気汚染による公害病。イタイタイ病は、鉱山から流れ出たカドミウムが原因で、水質汚濁である。水俣病、新潟水俣病もメチル水銀が原因の水質汚濁。

(5) 二酸化炭素などの温室効果ガスの増加により、地球の気温が高まること。南極や北極圏の氷がとけ、標高の低い島国、低地などでは居住が困難になるおそれがある。また、農林業にも大きな影響をあたえる。

- 3** (1) ① 平成 ② アジア・アフリカ
③ ベトナム ④ キューバ
⑤ マルタ ⑥ 日韓基本
⑦ 日中共同声明 (2) アフリカの年

考え方 (1) ④ キューバは1959年、共産主義革命に成功した。1962年にソ連と武器援助協定を結び、ミサイル基地の建設を開始したが、アメリカの抗議があって撤去した。⑦ 当時の田中角栄首相が北京を訪れ、毛沢東首席と会談し、日中の国交が回復した。

1 日本経済の発展

P.124,125

- 1** (1) 重化学工業 (2) 石炭から石油
(3) 経済大国 (4) 冷蔵庫
(5) 1980年代後半

考え方 (1) 1960年代から国民総生産の対前年の比率は二けたの増加を続けるようになり、史上例を見ないと言わ

れた経済発展を達成した。

(4) 白黒テレビ、洗濯機、冷蔵庫を三種の神器、カラーテレビ、自動車、クーラーを新三種の神器(英語の頭文字をとって3C)と呼ぶこともある。
(5) バブルとは「泡」のこと。見かけの価値だけがどんどん上がって、実体がついていかない様子をさす。地価(土地の値段)はこの時期に数倍にも上がったが、バブルがはじけると、たちまち下落した。

- 2** (1) 公害 (2) 公害対策基本法
(3) 環境庁 (4) 過密 (5) 過疎

考え方 (1) 公害とは産業活動などで生じる①騒音、②振動、③悪臭、④大気汚染、⑤水質汚濁などをいう。

(2) 公害対策基本法は1967年に制定され、1993年これを引き継ぎ、環境に関する日本の方針を示す環境基本法ができた。

(4)・(5)「過密」とは、人口が集中することによって、人々の生活に支障が出るような状態。「過疎」とは、人口の減少によって、社会的なサービスができにくくなるような状態をいう。

- 3** (1) 石油危機(オイル・ショック)
(2) (第四次)中東戦争 (3) ① 日本
② アメリカ ③ 貿易収支
(4) 貿易摩擦 (5) イ (6) ア

考え方 (2) 第二次世界大戦後、パレスチナにイスラエルが建国したことから続いている争い。ユダヤ民族の悲願だったイスラエル建国によって土地を追われたパレスチナ人(アラブ民族)と、それを支援するアラブ諸国は、イスラエルとたびたび戦火を交えたが、アメリカの援助などで軍事力に

まさるイスラエルが^{せんりょう}占領地を拡大し、多数のパレスチナ人の難民が出た。現在でも平和は達成されていない。

(5) 日本の農業は、土地がせまいために外国と比べて生産性が低く、農産物の価格は高くなっている。国は日本の農業を守るために、外国産の安い農産物の輸入を制限してきた。

2 国際関係の変化

P.126,127

- 1 (1) ① バンドン ② 平和十原則
(2) アフリカの年 (3) アメリカ
(4) EU

考え方 (1) アジア・アフリカ会議は、バンドン会議とも呼ばれる。

(2) アフリカは、ほとんどがヨーロッパ諸国の植民地にされていたが、戦後、独立の動きが高まっていた。

(3) アメリカ軍の大規模な軍事介入には、国内だけでなく国際的な反戦運動が起こり、1973年、アメリカ軍は撤退した。

(4) AUはアフリカ連合の^{りやくしやう}略称。

- 2 (1) 冷戦 (2) ^{ふんそう}地域紛争
(3) PKO (4) NGO

考え方 (2) 地域紛争は、人種、民族、宗教、価値観、貧富の格差などいろいろな要因で起こる。また、以前他国に支配されていたなどの歴史的背景が原因の場合もある。

(3) PKO(国連平和^{いじ}維持活動)は、治安維持や選挙^{かんし}の監視を目的として、国際連合が部隊を派遣する活動のこと。日本も1992年にPKO協力法(国連平和維持活動等に協力する法律)の成立後には、自衛隊が派遣されている。

- 3 (1) 新安保条約 (2) ^{にっかん}日韓基本条約
(3) 日中共同声明 (4) 沖縄県
(5) 日中平和友好条約

考え方 (2) 日本の植民地であった韓国では反日感情が強く、戦後も長い間、正式な国交は開かれていなかった。

(3) アメリカのニクソン大統領の中国訪問によって、米^{ちゆう}中^{こく}間の接近が図られたことが背景にあった。

- 4 (1) マルタ会談
(2) ^{かべ}ベルリンの壁の崩壊
(3) ユーゴスラビア
(4) 同時多発テロ (5) ^{ひかく}非核三原則

考え方 (2) ソ連は東ドイツの崩壊と西ドイツによる吸収^{もくしん}を黙認した。

(3) 第一次世界大戦の原因の一つとなった民族・宗教の対立が、ユーゴスラビアの解体によって再燃した。

3 21 世紀の世界と日本

P.128,129

- 1 (1) ① 二酸化炭素 ② 地球温暖化
(2) 持続可能な (3) 再生可能
(4) ^{せんかく}尖閣諸島

考え方 (3) 再生可能エネルギーは、天候などの環境に左右されやすいなどの課題もある。

- 2 (1) ^{こうれいか}少子高齢化 (2) 北方領土
(3) ^{ちやうせん}朝鮮民主主義人民共和国

考え方 (3) ^{らち}拉致問題とは、1970年代後半以降、北朝鮮が日本国内で日本国民を^{らち}拉致し、北朝鮮へ連れ去った問題。

- 3 (1) ① 二酸化炭素 ② 地球温暖化
(3) 京都議定書 (2) 再生可能エネルギー
(3) 風力発電

考え方 (2)(3) 再生可能エネルギーには、太陽光、風力、水力、バイオマスなどがあげられる。

- 4** (1) 韓国(大韓民国) (2) 拉致問題
(3) インターネット

考え方 (3) インターネットとスマートフォンの普及により、いろいろな種類のSNSが利用されるなど、生活が目まぐるしく変化している。

まとめのドリル

P.130,131

- 1** (1) 朝鮮 (2) 重化学工業
(3) テレビ (4) エ (5) ア

考え方 (1) 国連軍に軍需物資を供給し、特需景気と呼ばれる好景気が訪れた。この結果、日本の工業生産は戦前の水準にまで回復し、その後の高度経済成長の基礎となった。
(3) テレビは、1959年の皇太子ご成婚に際してパレードを中継して爆発的に普及し、1964年の東京オリンピックに際しては、カラーテレビが普及した。

- 2** (1) 1922年 (2) ベルリン
(3) ドイツ (4) ワルシャワ条約機構
(5) 北大西洋条約機構 (6) マルタ会談
(7) ロシア(連邦)

考え方 (2) 第二次世界大戦で、ドイツの首都だったベルリンは、アメリカ・イギリス・フランス・ソ連に分割占領され、戦後東西の対立からアメリカなどが占領していた西ベルリンと、ソ連が占領していた東ベルリンに一つの都市が分裂していた。その境界線に東ドイツの手でつくられたのがベルリンの壁である。1989年にベ

ルリンの壁が崩壊し、1990年に東西ドイツが統一された。

(7) 国際連合では旧ソ連の地位を継承して、安全保障理事会の常任理事国となっている。

定期テスト対策問題

P.132,133

- 1** (1) 朝鮮戦争 (2) キューバ
(3) 湾岸戦争 (4) 冷たい戦争(冷戦)
(5) 南北問題 (6) 日中共同声明
(7) 沖縄の日本への復帰

考え方 (2) キューバでは独裁者による圧政が続いていたが、カストロが指導する革命が成功し、共産主義国家への道を進んだ。ソ連はこのキューバを援助して、キューバにミサイル基地を建設しようとした。アメリカは、キューバの海上封鎖を行って、ミサイル基地の建設資材がキューバに運びこまれるのを阻止しようとした。
(3) 翌年日本ではPKO(国連平和維持活動)協力が制定された。
(5) 先進工業国は北半球の中緯度地域に多く、発展途上国はその南に多いことから、南北問題といわれる。
(7) 日韓基本条約の調印は1965年、日米安全保障条約の調印は1951年、オリンピック東京大会の開催は1964年、日本の国際連合への加盟は1956年のこと。

- 2** ① マッカーサー ② 農地改革
③ 財閥解体 ④ 労働組合
⑤ 日本国憲法 ⑥ 教育基本

考え方 ④ 労働三権とは、労働者の団結権(労働組合をつくる権利)、団体交渉権(会社側と交渉する権利)、団体行動権(ストライキなどを行う権利)の

ことである。

- 3** (1) ポツダム
(2) 持たず、つくらず、持ちこませず
(3) イ→ア→ウ

考え方 (1) 日本の降伏条件を定めたもので、日本はこの宣言を受諾して降伏した。
(3) アは1962年、イは1954年、ウは1967年。

総合問題(政治)

P.134,135

- 1** (1) 坂本龍馬 (2) 西郷隆盛
(3) (例) 君主権が強かった。 (4) 日清
(5) ポーツマス条約 (6) 清
(7) レーニン (8) 原敬
(9) 犬養毅 (10) 太平洋

考え方 (2) 西南戦争は1877年、旧薩摩藩を中心とする士族が西郷隆盛を擁して起こした、明治の最大にして最後の士族の反乱。
(5) 日露戦争の講和会議は、アメリカの仲介でアメリカの都市ポーツマスで行われた。

- 2** (1) 絶対王政 (2) イギリス
(3) 独立宣言 (4) フランス革命
(5) リンカン (リンカーン)

考え方 (3) 1776年、アメリカが独立を内外に宣言したもの。この宣言の日の7月4日がアメリカ建国の日とされている。

- 3** (1) イ (2) ウ (3) ウ
(4) アメリカ(合衆国) (5) B

考え方 (2) 日中共同声明によってA国と日本との国交が正常化されたのは1972年のこと。この年に、沖縄が

日本に返還された。

- (4) Dの国はベトナム。ベトナム戦争は南・北ベトナムの戦いに、アメリカが介入し、長期化した。

総合問題(経済)

P.136,137

- 1** (1) イギリス (2) 軽工業
(3) 世界の工場 (4) 資本主義社会
(5) ウ

考え方 (2) 紡績機の改良・発明によって、工場で安い綿布を大量に生産できるようになった。

- 2** (1) ① 3 ② 現金
(2) ア (3) 生糸 (4) 満20歳以上
(5) (例) 授業料が高く、また、子どもは貴重な労働力だったため。

考え方 (2) イは太平洋戦争後、ウは大正の末期。
(3) 製糸とは、生糸をつくること。

- 3** (1) ア (2) ① 足尾銅山
② 田中正造

考え方 (1) 日露戦争では賠償金を得られなかった。八幡製鉄所は、日清戦争の賠償金の一部を使って建てられた。

- 4** (1) 農地改革 (2) ① ㊦ エ
⑤ イ ② 新潟水俣病

考え方 (2) ① 1950年代半ばから始まった高度経済成長は、1973年の石油危機(オイル・ショック)で終わった。
② 工場から阿賀野川に流れ出たメチル水銀が原因で、手足がしびれ、目や耳が不自由となり、死ぬ人も出た。

総合問題 (文化)

P.138,139

1 (1) 学制 (2) 学校令

- (3) ① ㊸
② 教育勅語

考え方 (1) 全国に約5万4000の小学校をつくる計画で、小学校から大学まで、近代的な学校制度の確立を図った。
(3) ② 正式名称は「教育ニ関スル勅語」。天長節(天皇誕生日)などは特に重要な国民的祝日とされ、御真影(両陛下の写真)の前で教育勅語を読むことになっていた。

2 (1) ① 福沢諭吉 ② 中江兆民

- (2) イ
(3) ① 文明開化 ② エ

考え方 (1) ② 東洋のルソーと呼ばれた。
(3) ② これまでの太陰暦をやめて太陽暦を採用し、1日を24時間とした。

3 (1) エ (2) ウ (3) イ (4) ア (5) ア

考え方 (3) 鹿児島市出身の洋画家。法律の研究のためにフランスに留学するが、同時に絵画も修業する。パリの万国博覧会に「智・感・情」を出品して銀賞を受ける。日本にはじめて印象派の絵画を紹介したことも有名。